

### 参考3 介護・福祉職に転職する者のワーク・エンゲイジメントについての回帰分析 (第2-(3)-27図関係)

リクルートワークス研究所「全国就業実態パネル調査」(2017年～2021年)の個票を厚生労働省政策統括官付政策統括室にて独自集計を行い、他職種から介護・福祉職に転職した者について、転職後の仕事のエンゲイジメントを被説明変数とし、介護・福祉職とのタスク距離や就業経験年数等を説明変数として重回帰分析(順序ロジット分析)を行った。

重回帰分析に用いた変数の定義を参考3表1及び参考3表2に示すとともに、重回帰分析の結果を参考3表3に示している。

参考3表1 被説明変数の一覧

変数	定義
現職の仕事のエンゲイジメント	介護・福祉職に転職した者の、「生き生きと働くことができていた」という項目に対して「あてはまる」=5、「どちらかというにあてはまる」=4、「どちらともいえない」=3、「どちらかというにあてはまらない」=2、「あてはまらない」=1で回答したスコア

参考3表2 説明変数の一覧

変数	定義
福祉職との距離近い	介護・福祉職とのタスク距離が近い(0～33%点の範囲)場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数
福祉職との距離遠い	介護・福祉職とのタスク距離が遠い(67～100%点の範囲)場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数
女性ダミー	女性の場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数
経験年数	初職に就職してからの就業経験年数(平均を0とする中心化処理を行っている)
新職非正規	新職の就業形態が非正規雇用である場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数
前職専門技術職	前職の職種が「専門職・技術職」である場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数
前職産業医療福祉	前職の産業が「医療・福祉」である場合に1、それ以外の場合に0をとるダミー変数

参考3表3 順序ロジット分析の結果(第2-(3)-27図)

	被説明変数	
	現職の仕事のエンゲイジメント(1～5)	
福祉職との距離近い	0.975	(0.555)※1
福祉職との距離遠い	1.336*	(0.522)
女性ダミー	0.395	(0.455)
中心化経験年数	-0.046	(0.028)
新職非正規	0.451	(0.443)
前職専門職・技術職	1.599**	(0.554)
前職産業医療福祉	-0.467	(0.543)
福祉職との距離近い: 中心化経験年数(※2)	0.065	(0.036)
福祉職との距離遠い: 中心化経験年数(※2)	0.096**	(0.037)
サンプルサイズ	94	

有意水準 \*p<0.05; \*\*p<0.01; \*\*\*p<0.001

(※1) 表中の( )は標準誤差を表す。

(※2) 2変数の交差項を表す。